

令和2年度総合防災訓練の実施について

1 目的

文京区地域防災計画に基づき、実際の災害時において、区民、区民防災組織及び防災関係機関が協力して災害対策活動を円滑にできるよう、総合的かつ実践的な防災訓練を年間を通じて実施する。

2 避難所総合訓練

(1) 内容

文京区内を4ブロックに分割して、ブロックごとに1か所の避難所で、災害対策活動に求められるテーマを設定し、地域住民の参加による実践的な訓練を実施する（各300人規模）。

なお、平成26年度から8年間で全ての避難所において訓練を実施する計画の7年目であり、昨年度までに25か所で実施している。

(2) 日時・場所等

季節	実施日	場所	地域	テーマ
春	令和2年5月24日（日）	関口台町小学校	大塚・音羽	初動対応と情報管理
夏	令和2年6月21日（日）	茗台中学校	大塚・音羽	健康管理と衛生管理
秋	令和2年9月20日（日）	第一中学校	大塚・音羽	感染症対策
冬	令和3年2月28日（日）	汐見小学校	根津・汐見・駒込	要配慮者対応

※実施時間は、原則として午前10時から午前11時30分まで

※春及び夏の避難所総合訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期とした。

(3) 訓練参加者

ア 訓練を実施する避難所の避難所運営協議会員

イ 訓練を実施する避難所の災害対策本部避難所運営部員（勤務時間内）及び臨時災害対本部避難所開設班員（勤務時間外）

ウ 区職員（災害対策本部員、防災課職員及び関係課職員）

エ 防災機関（消防、警察、医師会等）

オ 一般区民

(4) 主な訓練内容

ア 避難所開設キットによる初動対応

備蓄物資の搬送・活用、区災害対策本部への情報連絡、受水槽からの飲料水確保、避難者の誘導・待機、ライフラインの確認、トイレ使用可否確認及び準備、土足禁止スペースの特定、居住スペースの確保、状況に応じた班編成

イ 本部室

避難所本部開設、通信訓練、被害状況把握、図上訓練

ウ 総務情報班

- 避難者受付、要配慮者への対応、情報の集約、災害特設公衆電話設置
- エ 避難者援護班
校内の安全点検、居住スペース設営、避難者相談コーナー設置
- オ 救護衛生班
医療救護所設営、トイレ設置
- カ 給食物資班
炊き出し、備蓄物資管理、給水
- キ 体験型訓練
初期消火、応急救護等
- ク 展示ブース
防災関係機関によるパネル展示、備蓄物資展示

3 防災フェスタ

(1) 目的

体験型訓練や展示ブース等の実施により、様々な視点から防災をPRすることで、区民の防災意識の向上を図る。

(2) 日時・場所

- ア 日時 令和2年12月6日(日) 午前10時から午後1時まで
- イ 場所 教育の森公園及び文京スポーツセンター

(3) 訓練参加者

区職員(担当事業のある災害対策本部員、危機管理室職員、関係課職員等)、防災関係機関、協定団体及び一般区民

(4) 主な内容

- ア 一斉防災(危機回避)訓練
防災行政無線(屋外スピーカー、戸別受信機)による一斉放送(午前10時)を合図に、その場で身を守る訓練を行う。
- イ 体験型訓練
参加区民を対象に、初期消火や応急救護訓練、起震車による地震体験、煙体験等を行う。
- ウ 展示ブース
防災関係機関や協定団体等の活動内容を展示する。